

🏆 菅平通信Vol.4 四日目は連日の『男はダボス』走り 第二弾!! 🏆

合宿四日目は、早朝の湿地帯ランニング(4km)からスタート。午前中は、ムーブメント、ボールトレーニング、紅白ゲームの後、宮崎コーチ定番のステーションサーキット走りを行いました。四日間、寝食ともに過ごしてきた翔陽高校はこのメニューが菅平合宿ラストになるので、チーム分け隔てなく全員で声を掛け励まし合いながら午前中のトレーニングを終えました。



🏆 翔陽高校との合同練習もこの日でラスト。お互いに切磋琢磨できた四日間 🏆

午後は、今年も連日の**虎の穴**合宿のメインメニュー『男はダボス』走り第二弾に向かいました。二回目のダボス走りは、ゲレンデの外周(1km) 6本+内周(850m) 7本を走ります。合宿後半の四日目ともなれば、疲労もピークを迎えその中のダボス走りは肉体的にも精神的にも極限状態になるので正直一番キツイところです。しかし、目の前に高く聳え立つ壁を乗り越えていくと見たことのない新たな景色に出会えます。子どもたちが厳しいトレーニングに全力でチャレンジすることが成長に繋がって行きます。片倉高校サッカー部では、直ぐに現れる結果より目標に向かって努力する過程を最も大切に指導をしています。菅平合宿には、その環境が星の数ほど散りばめられているのです。サッカー部のトレーニングのスローガンには『**No pain、no gain(痛みなくして得るものなし)**』という言葉があります。厳しいトレーニングの先には必ず明るい未来が待っていると信じています。

今年はダボス走りのラストに全員で列になって“声出しランニング”を行い、走った人数は13名+OBとスタッフの少数でしたが、ゲレンデにはその掛け声がこだましていました。帰りはダボスの塔での恒例の記念撮影を行い、2026年度の『男はダボス』走りを締めました。

毎年『男はダボス』走りを終えた後にファイナダー越しの子どもたちの表情を見ると、菅平合宿を通して少し逞しく成長したように感じます。菅平合宿はいよいよ明日が最終日です。菅平のまとめのゲーム(学年対抗戦)と重い(思い)出走りで合宿を打ち上げたいと思います。

🏈 『男はダボス』 第二弾 Snap 📸 「俺たちの青春」 🏈



🏈 2026 summer camp in Davos Hill 『男はダボス』 🏈